

神の恵みなる福音とは

はじめに

皆さんおはようございます。中国へ旅行した時のことです。クリスチャンの友と私はある夜、写真を撮りに出かけました。歩いていると、毛沢東の大きな像のそばに、8-9 歳くらいの少女がいました。彼女はとても上手に英語が話せました。私たちが話していると、兵士を含む小さな集団が周りに集まりました。そこでどうしたでしょう？中国のこの像の足元で、私達は福音を伝えました。少女が通訳してくれたのです。なんとも素晴らしい経験でした！彼女の中には、福音を知らない人もいたようです。「福音とは何か」と聞かれたらどう答えますか？すべてのクリスチャンが神の恵みの福音を知り、説明できるようになるべきです。御言葉を読むにあたって、可能な方はご起立ください。

コリント第一 15:1-6 「15:1 兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。15:2 また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。15:3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、15:4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおり、三日目によみがえられたこと、15:5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。15:6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。」

コリントの教会は混乱の中にありました。罪、霊的な賜物、指導者、教義等について混乱していたのです。パウロは問題を正し、質問に答えるためにこの箇所を書きました。15 章は復活について書かれていますが、話は福音から始まっています。今から取り上げるそれぞれのトピックは、もっと深掘していくべきことですからぜひそうしてください。今日は概要をお話しましょう。

A. 福音を信じる(1-2 節)

パウロは、使徒 18 章にある 2 回目の伝道旅行の最後に、コリントで福音を伝えました。自分が宣べ伝えた福音を彼らに思い出させたのです。もし福音をしっかりと保っていたなら、それによって彼らは救われています。パウロは真理を宣べ伝え、彼らはパウロから福音を受けた、受け入れたのです。例：私が 9 億円を渡して、あなたがそれをもらったらあなたはそれを受け入れたこととなります。彼らはパウロから福音を受け取り、その中に立ち、打ち立てられたのです。彼らは福音を信じ、恵みの福音をしっかりと保って、自分のものとししました。救い

は失われることはありませんが、パウロは彼らが本当に信じているのかを確認すべく向き合いました。福音を本当に信じていますか？福音を受け取り、イエスを受け入れていますか？

B. 福音を受け入れる(3a 節)

パウロは福音を受けました。福音は神に属するもので(ローマ 1:1-4)、神がパウロに福音を明らかにされました。応用:福音を変える者は神を冒瀆しています。多くの偽りの福音が存在します。嘘を見抜く唯一の方法は、真理を知ることです。次は、福音の5つの側面です。まずは...

C. キリストは私たちの罪のために死なれた(3b 節)

イエスが十字架で死なれたのは、私たちの罪のためでした。質問です:あなたは罪をどう定義しますか？それぞれ異なることでしょう。まず 1. 個々の聖書の理解度によって異なります。今までどれくらい勉強し、読み、従ったか、あなたの経験が、罪に対する理解に影響を与えます。2つ目に、それぞれが属する文化によっても異なります。西洋では宗教改革の影響を受けて、罪は法律を破ることと定義されます。罪は態度に基づいた行動であり、個人に焦点が当てられています。律法的な見方です。アジア文化圏では、罪とは神を敬わず、恥をかかせること、という見方をされることが多く、より集団に焦点が当てられます。関係性を重視する考え方です。質問です:聖書はどのように言っていますか？私たちは行動によって罪を犯します。私たちの本質は罪人であり、神を拒み、神に反抗しているからです。神を敬わず、神がくださる関係を自ら拒否するのです。罪は関係的かつ律法的なものです。私たちは皆、神の完全さに及ばず、神に反抗し、神がくださる関係を拒否します。皆さんが誰かにキリストを伝えるとき、問題は罪という心の問題であることを相手が理解するようにしてください。私たちの内なる罪が、罪深い態度や行動につながるのです。天地創造に戻り、罪がどこから来たのか、それがどのようにすべてに影響を及ぼすのかを説明すると効果的です。

誰もが罪を犯した(ローマ 3:23):私たちは皆、神を敬わず、背きました。私たちは皆、神の律法を破り、神の栄光を自分のものにしました。私たちは死ぬべき者ですが、イエスが私たちの代わりに死なれました。これが身代わりの教義です。神の聖なる正義は、罪が罰せられることを求めます。神の聖なる愛は、信仰によってキリストを受け入れる人のために、キリストにおいて罪を贖ってくださいました。

コリント第二 5:21 「5:21 神（御父）は、罪を知らない方（罪のないイエス）を、私たち（信じる者すべて）の代わりに罪（罪の捧げもの）とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義となる（神の義を受け取る）ためです。」

さて、イエスについて語る時、聖書のイエスについて語るべきです。多くの人がイエスという名前を使いますが、聖書のイエスを信じてはいません。イエスは神です。イエスは罪のない方で、受肉された神として完全であられました。永遠の御子は、処女から生まれ、完全な一生を送りました。そして私たちの代わりに、完全な犠牲となる贖いの死を遂げたのです。創造

主は被造物によって、ご自分が造った木の上で十字架につけられたのです。誰もが死にますが、イエスは私たちの罪のために死なれました。
次にイエスは...

D. 葬られた(4a 節)

イエスは金持ちの墓を借りて埋葬されました。1世紀のイスラエルでの埋葬の慣習に則ったのです。ヨハネ 19:39-40によると、没薬とアロエが 30 キロほど使用されました。応用:これはすべて、歴史の中で起こったことです。ユダヤ人とローマ人は、イエスがどこに葬られたかを知っていました。イエスは 3 日間、墓の中にいたのです。
しかし、三つ目に...

E. よみがえられた(4b 節)

イエスは、3 日後に同じ体でよみがえられました。これは極めて重要です！イエス様の肉体的な復活がなければ、キリスト教は存在しません。復活がなければ、私たちはまだ罪の中にいて、何の希望もありません。それは霊的な復活ではなく、肉体的な復活でした。聖書以外の文献でもそのことが語られています。ローマ人やユダヤ人がイエスの遺体を展示できたとしたら、キリスト教が始まる前にそれを止められていたでしょう！イエスは墓から出られたので、展示などできませんでした。イエスは生きておられるのです！
次に行きましょう...

F. 聖書の示すとおりに(4c 節)

パウロは 2 回、聖書に言及しています。3 節と 4 節です。質問です:パウロは何のことを言っているのでしょうか？旧約聖書です。旧約聖書には、メシアが来ること、どこで生まれるか、罪人のために死ぬこと、よみがえることなどが書かれています。その一例が、イザヤ書 53 章です。イエスが来られる約 700 年前に預言者イザヤによって書かれました。パウロは、ユダヤ人と異邦人の目を聖書に向けました。応用:アブラハム、モーセ、イザヤ書 53 章、詩篇 22 篇について学びましょう。証をするときは聖書を使いましょう！聖書をどのように組み合わせしていくか学びましょう。旧約聖書と新約聖書の間にはつながりがあり、それを理解する必要があります。つながりの一つは、成就した預言です。
五つ目に...

G. 多くの人に現れた(5-8 節)

幻覚ではなく、イエスは物理的にそこにいたのです。人々はイエスを見て、触れ、その教えを聞き、従いました。福音書と使徒言行録を読めば、イエスが復活され生きておられる姿を何度も示されたことがわかります。パウロはイエスを目撃した人たちのことを要約して述べており、すべての詳細を述べているわけではありません。ケパ（ペテロ）と十二弟子について述べています。500 人以上の兄弟がイエスを見ましたが、そのほとんどはパウロがこれを書いた

時にまだ生きていた人たちです。福音は感覚や経験ではなく歴史に基づくものです。神話ではなく、事実であり、真理なのです。

応用:イエスを見て信じた人は変えられました。パウロは信者を憎むパリサイ派でした。クリスチャンを逮捕しようとしたところ、イエスが現れました。パウロの人生は劇的に変わりました。私たちがイエスを信じたなら、私たちの人生は世とは違うものになるはずですが、完璧ではなくとも、世とは違うのです。クリスチャンであることの一つの証は、変えられた人生です。イエスはあなたを変えられましたか？ 今変えられていますか？ 神の恵みの福音を知ることが重要ですが、どのように救いを受け、恵みを受け入れることができるのでしょうか？

H. 信仰により救いを受け取る(エペソ 2:8-9)

エペソ 2:8-9 「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。2:9 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」

多くの人々が、救いは勝ち取ることができると思っています。十分に努力し、善行に励み、良い人、あるいは他の人ほど悪い人にならず、祈りを捧げれば、天国に行けると信じているのです。十分に誠実で、人生のある時点で洗礼を受け、十分に献金し、信心深ければ、神が赦してくれると信じている人もいます。こういった見解は人間中心の宗教であり、神への侮辱です。神は、十字架上で完成したイエスの御業を通して、一つだけの道を用意されました。人間の作った宗教は、救いを得るために何かしなければならぬと言いますが、神は、救いの業が完了して、救いを受け取るだけだと言われます。どうやって受け取るのでしょうか？ 信仰によってです。救いは神の恵みによる贈り物であり、信仰によって、神が言われることを信頼して受け取るのです。質問です:恵みとは何でしょう？

恵みとは、神のすばらしさが、それに値しない者にも差し伸べられることです。私たちは、イエスなくして神の敵です。しかし、神はその憐れみの表現として、福音を通して人々を救いに導かれます。私たちが自分で勝ち取るものではありません。私達はそれに値しないのです。救いを維持するため何もしることができません。すべては神の良いご性質に基づいています。私達は信仰を通して恵みによって救われます。しかし私達はまた、福音の恵みによって生きているのです。質問です:信仰とは何でしょう？

信仰とは行動において信頼することです。私達は日々、様々に信仰を表現しています。朝、車が動く信じ、公共交通機関が時間通りに来ると信じ、自分の仕事に見合った報酬を得られると信じ、この説教を見聞きするために、テクノロジーが機能すると信じています！ 救いにおいては、イエスが私たちのためにしてくださったことを信頼します。神が私たちの代わりに御子を犠牲として与えられたこと、そして、御子を信じるとき、永遠のいのちを持つことができると信じるのです(ヨハネ 3:16)。私達は信仰によって救いを受け、信仰によって生きているのです。

1. 日常生活における恵み

福音は救いのためだけのもので、人生のためのものではないと考える人もいます。そんなことはありません。福音を信じることは人生に影響を与えます。どのようにでしょう？例題としていくつか聖句を参照しますので、後で文脈を読んでみてください。皆さんへの宿題です。

コリント第二 5:17-キリストにあって、私たちは新しく造られた者です。罪悪感に苦しんでいますか。神に告白し、相手に赦しを求めたけれども、まだ過去にしたことに苦しんでいますか。キリストにおいて、神はあなたを完全に赦されました。あなたは新しく造られた者なのです。もう葛藤などないという意味ではありません。葛藤はありますが、神が既に赦されたことを自分の重荷にしないでください。

コリント第二 5:18-20-パウロは和解の働きについて語っています。キリストにおいて、神は私たちをご自分と和解させました。私たちを神との正しい関係に戻してくださったのです。和解が必要な相手がありますか？家族、教会の仲間、元友人、同僚などでしょうか？もし自分が間違っていたのなら、相手にそう伝えてください。もし自分が傷付けられたなら、神の御前で、どうすべきか問いましょう。どちらにしても、可能であれば和解のための一歩を踏み出すようにと神は教えられます。

コリント第一 6:18-20 は、私たちは聖霊の宮なのだから、性的な罪から遠ざかり、自分のからだをもって神の栄光を現しなさいと教えます。これは独身者にも既婚者にも言えます。ポルノを見てしまっていますか？やめましょう。配偶者を裏切ろうとする誘惑に駆られていますか？とどまってください。神様に助けを求めながら、配偶者との関係を再構築してください。複雑かもしれませんが、まずは神が教えることから始めましょう。

コロサイ 3:21-25 には、奴隷と主人について書かれています。従業員と雇用主と言ってもいいでしょう。もし仕事をしているならば、あなたはキリストに仕えているのです。あなたはキリストから報酬を受けています。大変かもしれませんが、キリストのために働き、職場や学校でキリストの証人となりましょう。これらは、私たちが神の恵みの福音をどのように生きることができるかのほんの一例です。

もし、個人的に、家族が、教会が、あるいはミニストリーが裏切られたらどうしますか？福音はどのようにつながってくるでしょう？福音は対立について語っています。神は私たちの罪に立ち向かい、必要に応じて他の人の罪にも立ち向かうよう教えます。恵みと赦しが与えられます。イエスは十字架につけられたとき、ほとんどすべての人から裏切られました。イエスは、自分で復讐をしようとはなさいませんでした。ローマ 12:19 は、私たちクリスチャンが自分で復讐をしてはいけないと述べていますし、レビ記 19:18 とマタイ 5:39 も同様です。もっと多くありますが、私たちが経験する痛みと福音の関係を垣間見ることができます。

結論: 神の恵みの福音の要約です。

1. イエスが私たちの罪のために死なれ

- 2.葬られ、
- 3.三日目によみがえられ、
- 4.聖書に示されたとおりに、
- 5.多くの人に現れた。

私たちは、主の恵みにより、信仰によって救いを受けるのであって、行いによるものではありません。キリストを信じていますか？キリストの救いを贈り物として受け取りましたか？

もしまだであれば、今がチャンスです。形式的なものでも魔法の祈りでもありません。神に心を注いでください。自分の罪から立ち返り、神に信頼しましょう。言語は問いませんが、次が祈りの一例です。

「主よ、私は罪人であり、あなたの律法を破りました。あなたの名誉を傷つけ、怒らせてしまいました。今まであなたの恵みによって与えられた関係を拒否してきました。私は自分自身を救うことができません。あなたの御言葉にある通り、救いのためにイエス・キリストだけを信じ、その死と復活に信頼を置きます。私の罪を赦してください。私の人生の主、救い主としてあなたに仕えたいと願います。アーメン」

主を信頼している人たち、主のために生きているのでしょうか？聖書に基づいて洗礼を受けましたか？地元の教会に所属し、成長し、奉仕し、責任を負うことを約束しましたか？OICに参加しましょう。福音がもたらす変化が、日常生活、人間関係、仕事、態度に生きていますか？もしそうなら、神の恵みによって、神をほめたたえましょう。もしそうでないなら、神と自分自身に問う必要があります...なぜか？

中国への旅行についてお話しました。福音を分かち合った人たちがどうなったのか、その少女がどうなったのかはわかりません。私たちは福音に対する他者の応答をコントロールすることはできませんが、神は私たちに福音を宣べ伝え、弟子を作るようにとされています。神の恵みの福音は、すべての人々、すべての時、すべての国、すべての言語のためにあります。今週、誰かとキリストを分かち合い、その結果を神に委ねましょう。栄光の福音がどのように人生を変えるのか、神が示してくださいませように。

祈り